



YMCA 大阪青年

7・8

2023年7月1日発行
1916年6月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



未来へ希望をつなぐ

昨年、2022年6月4日に大阪YMCA創立140周年を迎え、「見えない未来に希望を」をテーマに、次代を担う世代と共に大阪YMCAの歩み、特に長年培ってきた大阪YMCAのグローバルなネットワークを活かした取り組みに向き合い、希望をつなげていくことを願って記念誌を作成しました。

さて、社会の動きを振り返ると、2011年には東日本大震災が発生し、多くの命が奪われました。多くの人々がボランティア活動に参加し、国内外からの支援や寄付金が寄せられました。大規模な自然災害に直面し、人間がお互いに支え合う姿があり、生活を共に守るために、地域社会を見直す動きがありました。また津波被害により原子力発電所の安全性の確保ができず、見直しの議論も行われました。

それから10年が経過し、2020年には新型コロナウイルスが発生し突然私たちの日常生活が大きく揺さぶられました。2022年にはロシアによるウクライナへの侵攻により多くの命が奪われ、人びとの平和が脅かされています。これは、自然災害ではなく人間が引き起こした争いであり、人間が人々の命を奪っています。私たちの住む地球をどのようにして守るかの取り組みを進めている中、人間同士の争いにより状況は一変しました。日本の原子力発電所は、エネルギー確保の観点から再稼働及び新設計画についての検討もなされています。

また、戦後のアメリカを中心とした西側諸国中心の経済発展が、中国の経済発展と共にパワーバランスが崩れ、世界が混沌としています。民主主義を掲げる国がある一方で、独裁、

軍事政権による統治も存在し、互いに疑念のない「平和」の姿が必ずしも一致せず、あるべき社会についての協議を進めるには相当の努力が必要です。

大阪YMCAは、「希望をもって、共に生きる社会の実現をめざします」という使命に基づき事業を展開していますが、近年、その使命の前提が大きく変化をしています。

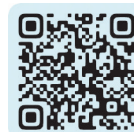
- ・「子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます」
家庭が最後の砦でありセーフティネットと考えられた時代がありましたが、今はその機能を十分に果たすことができないケースも多く、地域社会が家庭をどのように支えるかが問われています。
- ・「世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組む」

戦後日本は経済成長を遂げ、貧困の課題は解決し、これからは、世界の貧困に苦しんでいる人々のために力を発揮することと考えてきました。しかし、経済的に貧困から脱出したとしても必ずしも真の豊かさを享受しているわけではないということ、また近年は日本でも貧困家庭が増え、孤立も深刻化し、ヤングケアラーの存在も明らかになり、格差社会と呼ばれるようになりました。

YMCAは120の国と地域に広がり、地域社会の課題に向き合う活動を展開しています。私たちYMCAの強みはグローバルに広がるネットワークであり、地域の課題をグローバルな視点で捉え直すとともに、世界各地の課題を自分事と捉えて社会を良くする意志ある人の集まりであることです。聖書に示されている「すべての人を一つにしてください」との切なる願いを私たちの願いとし、分断ではなく一致へ、争いではなく和解への祈りと情熱をもち、地域の課題に向き合う活動を進め、大阪YMCAは世界のYMCAと共に歩んで参ります。



大阪YMCA 総理事
おがわ けんいちろう
小川 健一郎



大阪YMCA創立140周年記念誌のデジタルブックはこちらからご覧ください ▶

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する動きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

ユース事業部(公益財団法人) ～泳ぐことだけでない、YMCAウォーターセーフティ～

南YMCA アクアティックディレクター **小島 宏樹**

夏、到来！今年もとても暑くなりそうですね。そんな時は泳いでスッキリしましょう！私も泳ぐことが大好きです。海に囲まれている日本において、「泳ぐ」とは武術が起源となり、「水練」という学習が昔から行われるほど、泳げるという価値が昔から大切にされてきました。そんな中、1968年(昭和43年)の学習指導要領改訂に伴い、小学校体育に「水泳」が盛り込まれたことから全国で学校プールの建設が進み、学校においても水泳の取り組みが盛んに行われるようになりました。全国で約22,000校に学校プールがあるというのは、世界的に見てもとても多い数字です。(令和3年度スポーツ庁 体育・スポーツ施設現況調査)

YMCA アクアティック(水泳)プログラムでは、参加者の心身の健康を育むことを目的に、参加者は主に4泳法修得をめざして練習に励んでいます。さらに、「泳ぎはいのちを守る大切な技術です！」というスローガンを掲げ、泳力の向上だけでなく水上安全活動を啓蒙していくことが私たちの目的です。『水上安全』とは、「何が危険かを考える」「助けが来るまで浮いて待ち続ける」などの、泳ぐとは違った水辺での安全を守るための技術



を指します。

YMCAでは毎年夏前に「着衣泳講習会」を実施しています。また、要望に応じて小学校の体育での講習会も行っています。実際に着衣泳を体験した子どもたちからは「洋服が水を吸って重かった!」「身体にくっついて動きにくかった!」など、普段の水泳とは違う感想を聞くことができます。実際に体験することで、水辺での危険を知り、生命の守り方を学ぶことができます。講習会でも話しますが「泳げるから大丈夫! 技術を学んだからもう大丈夫!」ではありません。大事なことは、『危ない場所には近づかない、危ないことはしない』ことです。「神さまからいただいた大切な生命を守りたい!」今後も、この願いを皆さんと共に広げていきます。

着衣泳体験・ ライフジャケット着用体験会実施!!

inあべの天王寺サマーキャンパス2023

日程：8月20日(日)

場所：南YMCA プール



南YMCAまでお電話にてお申し込みください

【06-6779-8362】

ユース事業部(学校法人) ～英語で世界を広げる(ランゲージセンター)～

ランゲージセンター 事業長 **中島 茜**

ランゲージセンターでは、2歳から成人の方を対象に、さまざまな英語クラスを開講しています。

その中で、サタデーコースなどの長時間クラスでは、一昨年度より年に数回、海外YMCAとのコラボレーションによるGlobal MeetupとPenpalを行っています。

Global Meetupは、Zoomを使い、海外の子どもたちとお互いの国を紹介したり、その時々トピックについてディスカッションをしたりして、英語学習はもちろん、実際のコミュニケーションを通して、英語で世界が広がることを実感してもらえるプログラムです。これまでにアメリカ、コロンビア、ニュージーランド、ミャンマー、シンガポール、台湾の生徒たちと交流を行ってきました。最初は画面越しに自分の意見を言うことを恥ずかしがっていた生徒たちですが、同年代の子どもたちと話すことで、もっと英語が話せるようになりたい!と思ったり、相手の堂々とした発言や英語力にすごい!と感じたり、緊張しながらも自分の言葉で発表することで自信がついたり、いろいろな経験をしながら、楽しんで参加しています。

またPenpalでは、お互いを知り、コミュニケーションスキルを身につけることを目的として、自己紹介と相手への質問を書いた手紙を書いてアメリカやコロンビアの生徒とやりとりをしています。手紙を書いた後は、返事が来るのをドキドキしながら待つという、オンラインとはまた違った楽しみもあります。

普段接することのない海外の同年代との関わりや、多様な文化の学びを通して、英語への興味が深まり、子どもたちの未来が世界に広がっていくことを願っています。



社会福祉事業部 ～こひつじひろば～

YMCAあわさ保育園 保育士 **藤田 美智代**

YMCAあわさ保育園では「地域と共に育つ」園であるために、地域の子育て支援として「こひつじひろば」を行なっています。周りに知り合いがいない都会での子育てで、孤立し、孤独になっている方がおられるのではないかとスタッフの気づきから、この取り組みが始まりました。

毎回楽しい活動を準備し、園開放を行うことで、ご家族と共に子どもたちの育ちに寄り添い、安心できる遊び場を提供しています。地域の方や、在園児の親子の参加もあり、みんなで成長を喜び合い、子育ての悩みを気軽に話せる、ほっとする居心地のいい「つながる場」となっています。近所のパン屋さん、美容院、飲食店やスーパー等からもこの活動に対するご理解を得られ、パンフレットを設置いただく等ご協力をいただいています。

お家ではなかなかできない「絵の具あそび」や「おもちゃ作り」、子どもたちが満面の笑みとなる「わらべうた」、初めて子育てする方のための「離乳食のお話」等、毎回とても喜ばれています。

これからもこの活動を通して、YMCAあわさ保育園が地域の方同士が繋がる場であり続けられるように発信していきますので、お心あたりの方がおられたらお誘いください。お待ちしております。

参加者からの感想

普段できない遊びが体験できて面白かったです。

ひとりっ子で、同世代の子たちと関わる機会がないので、刺激になってよかったです。

保護者同士でお話もでき、一人じゃないと思えました。

子どもたちがのびのびと遊んでいます。

右記のQRコードから園の様子をInstagramでご覧いただけます。こひつじひろばの活動も、ぜひご覧ください。



グローバル推進室 ～第11回YAPUNカンファレンス 参加報告～

グローバル推進室 室長 **Dominic Pangrazio**

The YMCA Asia Pacific Urban Network (YAPUN)は、グローバルな視野を持つYMCAのリーダーたちが、具体的な事業の協力をアジア太平洋地域で促進するために行っている(共有、学習、協力するための)プラットフォームです。メンバーは大阪の他、ソウル、台北、台中、台南、南投、メトロポリタンシンガポール、ビクトリア(オーストラリア)、マンダレー(ミャンマー)、ノース(ニュージーランド)の10YMCAです。

第11回YAPUNカンファレンスが5月7日(日)から10日(水)に、3年ぶりに対面で韓国ソウルのGayoung International Youth Cultural Centerで開催されました。55名の出席に加え、25名が

オンラインでハイブリッド会議に出席しました。会議のテーマである "Promotion and Marketing for a Good Cause" に合わせ、ワールドビジョン韓国代表の Dr. Myunghwan Cho による基調講演は、YMCAがマーケティングや募金活動にブロックチェーン技術(※)をどう活用できるかという内容でした。また、アクアティックスや高齢者、キャンプなど複数の部会に別れ、今年度計画についても協議しました。例えば、2022年に新たに結成されたユースエンパワーメント分科会では、ユースによって構成される委員会からユースリーダー育成ツールにもなる環境影響ワークショップや、社会的インパクト測定の研究や実施について提案がなされました。

※ブロックチェーン技術：暗号技術によって取引履歴を1本の鎖のようにつなぎ、データを正確に維持する技術。



創立記念礼拝・VISION150進捗報告会

6月3日(土)に、大阪YMCAが創立された1882年6月4日を記念した創立記念礼拝と、創立150周年に向けて作成してきた「VISION150」の進捗報告会を、85名の会場参加と約50名のオンライン参加のもとで開催しました。

創立記念礼拝

日本基督教団浪花教会の川江 亜希子^{かわえ あきこ}牧師から、「この身ひとつじゃ足りない想い」と題した奨励がありました。浪花教会初代牧師で大阪YMCA創設者の一人である澤山 保羅^{さわやま ほうろう}が、病床にあっても教会員一人ひとりの名を覚えて祈った姿が紹介され、自分中心の生き方から神様を中心にする生き方が伝えられました。また、絵本の朗読も交えながら、イエスがこの身ひとつじゃ足りなくらい「あなた」が必要なのだという想いを届けてくださっている、私たち一人ひとりもこの想いを隣にいる人に届けていきたいとメッセージをいただきました。



VISION150進捗報告会

VISION策定におけるこれまでのプロセスを皆さんと共有し、意見をかわす時間を持ちました。ここに至るまでに、大阪YMCAに連なる約300名の方の思いをヒアリングしてきた経緯があります。その思いがVISIONに反映されているか、また今回の報告を受けどのように感じたかなどを、ユースの皆さんや会場での参加者に聞きました。肯定的な意見が多かった一方、率直な意見もいただきました。皆さんに愛されるVISION150となるよう、様々な意見や



想いを取り入れて完成させてまいります。最終発表は、11月23日

(木・祝)の大阪YMCA大会を予定しています。完成したVISION150を皆さんと共有できることを楽しみにしています。



インフォメーション

早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。祈禱会の後、朝食会を予定しています。

第351回

日時：2023年7月14日(金) 7:30~8:30

※第351回のみ第2金曜日の開催です。

証し：小林 直樹^{こばやし なおき}さん(大阪YMCA 高校生・発達支援事業 責任者)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

参加費：300円

第352回

日時：2023年8月18日(金) 7:30~8:30

証し：杉浦 真喜子^{すぎうら まきこ}さん(大阪なかのしまワイズメンズクラブ、公益財団法人大阪YMCA 理事)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 本部事務局 総務
TEL: 06-6441-0894
E-mail: info@osakaymca.org

ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を行っています。皆さまのご協力をお願いいたします。

【募金方法】 一口 1,000円

【募金期間】 7月1日(土)~9月30日(土)

【受付窓口】 各YMCA、大阪YMCA本部事務局

【その他】 クレジットのご利用も可能です。

以下のURL、または
QRコードからお願いいたします。

<https://kifu.fm/osakaymca/form.php>



会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2023年5月度報告(敬称略)

【新規会員】

上代 慶

國友 朝子

小西 和子

近藤 未美

佐神 聡美

重信 直人

石原 福造

加志 勉

川岸 清

中久木 康弘

日野 多栄子

福島 真一

藤田 貴大

前出 孝子

牧浦 寿加子

松野 五郎

望月 剛

柳谷 利起

山口 ひかる

横田 憲子

和田 早苗

【継続会員】

石原 福造

加志 勉

川岸 清

志田 育夫

高岡 正明

田尻 忠邦

【継続賛助会員】

栄光ホールディングス株式会社

積水化学工業株式会社

脇大輝税理士事務所

大阪YMCA
ホームページ



ボランティア
スクエア

